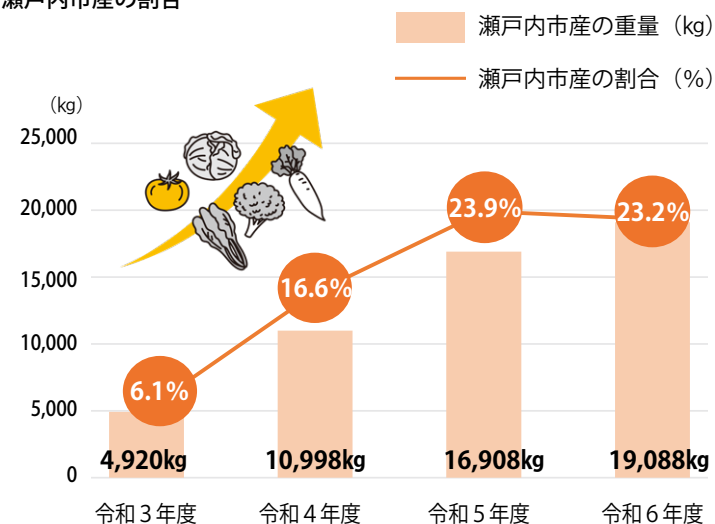


子どもの給食における地産地消の推進

令和7年3月末現在の地産地消率（重量ベース）は23.2%です。プロジェクトが開始した令和4年度以降、約17%増加しています。

■地産地消率 **23.2%**（令和7年3月末現在）

給食に使用した全野菜（重量）のうち瀬戸内市産の重量と瀬戸内市産の割合



子ども・保護者への食育の推進



生産者らが学校や園を訪問し、農業体験や出前授業を通じて交流することにより、地産地消の良さや生産者の想い、給食には生産・運搬・調理などさまざまな人が関わっていることなどを伝え、地元の農業や食への関心を高めています。

子どもの居場所づくり支援

市内5カ所で取り組まれている「こども食堂」に対して、立ち上げや活動継続のための支援や研修会を行っています。



環境負荷低減農業の推進支援

農業の生産力向上と持続性の両立を目指し、環境負荷を低減した栽培技術の検討、実証、普及を行っています。

新たに8人の生産者が、化学肥料・農薬使用量を一般的に使用される量の5割以下に抑えて栽培した農産物を給食に納入し始めました。



プロジェクトの展示を行います

食のしあわせプロジェクトの取り組みについて、瀬戸内市市民図書館で展示を行います。映像資料や関連書籍なども紹介します。ぜひご覧ください。

▷期間 5月1日（木）～27日（火）
▷場所 市民図書館1階

食のしあわせプロジェクトはふるさと納税で支援されています



「食のしあわせプロジェクト」は、食材の買い上げなどに必要な費用をふるさと納税（自分が選んだ自治体に寄附することで税金の控除を受けられる制度）による皆さんからの寄附を活用しています。

プロジェクトを開始した令和4年10月から令和7年3月末までの間に、延べ2万620件、5億1,012万2,543円の寄附をいただきました。そのうち、企業からの寄附は23件あり、お米など食材の現物寄附もありました。

それらの寄附をいただいたことで、今まで給食で提供することができなかった市内産の果物やデザートなどの購入ができ、子どもたちがより一層楽しめる給食を提供することができました。

ふるさと納税についてはこちらから
瀬戸内市ふるさと納税ポータルサイト▶



—地産地消 100%給食を目指して—



「食のしあわせプロジェクト」は、給食に地場産物を増やすことにより、食育推進、農業の活性化、地域経済の循環などを目指し、令和4年10月に開始したプロジェクトです。

市内の保育園・こども園、幼稚園、小・中学校において、毎日約3,900人が給食を食べています。その給食に地場産物を活用することで、子どもたちの豊かな食の経験や健やかな成長の一助とするともに、地場産物を適正価格で買い上げるなどにより生産者の支援を行っています。これまでの取り組みや進捗状況などを紹介します。

関産業振興課 ☎0869-22-3934

